

■ロゴマーク



平成 29 年 4 月に加西市制施行 50 周年を迎えるにあたり、市制 50 周年のロゴマークとキャッチコピーが完成しました。

ロゴマークは、加西の「西」で根日女の顔をイメージし、根日女の暖かい気持ちを表現するため暖色（オレンジ）を使用。全体で加西アルプスの善防山を表現しています。

キャッチコピーは、応募総数 86 点の中から、宮崎薫さん（北条町西南）の作品に決定。共創をキーワードとし、「自治体だけでなく、市民と一緒に加西市を築き上げ、サポートしていこう」という思いが込められています。

■今後の予定事業

- ・市制施行 50 周年記念式典（4 月 29 日）
 - ・兵庫芸術文化センター管弦楽団ストリングス加西公演（4 月 29 日）
 - ・第 2 回加西能（5 月 4 日、出演：野村萬斎さん他）
- ※加西公演と加西能については、広報かさい 3 月号で詳細をお知らせします。

■キャッチコピー

**ともに創り、ともに育む。
加西市 50 周年。**

■思い出の家族写真を大募集

現在、市制 50 年を振り返る記念動画を製作中です。記念動画で使用する昭和 40 年代の家族写真と現在の家族写真をご提供ください。動画の公開は、記念式典や市ホームページなどを予定しています。

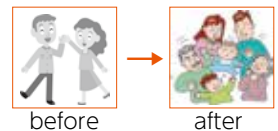
募集写真／昭和 40 年代の家族写真 1 枚
とその家族が写る現在の写真 1 枚

募集期間／2 月 28 日（火）までに持参

応募先／秘書課（市役所 3 階）☎ 42-8701

※写真は複写し原本をお返しします。

※掲載された方には、記念動画 DVD をプレゼントします。



■タウンミーティングの開催結果を報告します

平成 28 年 10 月 27 日から 11 月 30 日にかけて、小学校区ごとにタウンミーティングを開催しました。地域自治会を担われている皆さまを中心に、延べ 384 人の参加がありました。

「市民の思いが活きる地域づくり」をテーマに、意見交換しました。意見・提案と市の回答は市ホームページに掲載しています。

皆さまの意見や提案を可能な限り市政に反映させていただきます。



賀茂地区のタウンミーティング

■意見・提案と市の回答（一部抜粋）

意見・提案	市の回答
倒壊の恐れのある空き家があるため、撤去費用等の支援をしてほしい。	空き家は私有財産のため、基本的には個人で対応していただきたい。ただし、個人で対応できない場合は、市が定める基準を満たし、空き家の跡地を町の駐車場など公共的に使用する場合に限り、100 万円を限度に補助しています。
市から自治会に補助を出して、町民が市道法面の除草や草刈りをしてはどうか。	「自分たちの住む町をもっと安心・安全にしたい」というボランティア活動に対して、市が支援を行う制度を平成 29 年度から実施する予定です。市が資材等（草刈機の刃、燃料）の支給やボランティア保険に加入しますので、ご協力をお願いします。
高齢者や認知症患者の車の運転は全国的な問題で、買い物・通院等の移動手段（コミュニティバス）を確保してほしい。	コミュニティバスの利用者数は少なく、利用増加に向けて、運転免許返納者などにはコミュニティバスの無料乗車券を交付しています。費用対効果を含めて持続可能な運営制度が必要であると考えています。地域主体型の効果的な方法で市内全体を回ることができるよう検討していきます。

加西の重要な生態系がわかるリーフレットが完成

問合せ先／環境課 ☎42-8716 FAX42-6269
kankyo@city.kasai.lg.jp

市内の希少種・絶滅危惧種の確認状況から特に重要な場所を抽出して整理した「加西の重要な生態系 48」(KJS48)のリーフレットが完成しました。加西市の多様で特徴的な自然環境を写真付きで掲載・解説したもので、市内に多数現存する重要な生態系が確認できる場所が一目でわかる仕上がりとなっています。

リーフレットは、小・中学校に配布し環境教育の資料として活用していきます。また、多くの方に手に取っていただけるよう市内公共施設に設置しています。ぜひこの機会に、絶滅危惧種と呼ばれる生き物が今なお良好な状態で見られるため池などを訪れ、加西の生態系を再確認してください。

■リーフレット設置場所／市役所、地域交流センター、図書館、中央公民館、善防公民館、南部公民館、北部公民館



A 4判6ページで2000部作成。フルカラー仕様で市内の生物多様性が視覚的にわかるリーフレット形式。

加西市の色とりどりの農家を紹介

問合せ先／ふるさと創造課 ☎42-8706 FAX42-8745
furuso@city.kasai.lg.jp

「地域おこし協力隊」として、地域活性化に取り組んでいる立花莉絵子隊員が消費者トラブル啓発冊子として取材・執筆した「十人十色 No1」が、完成しました。

第一弾は、市内で農産物をつくる5軒の農家の農業に対する熱い思いが伝わっています。加西市には、安全・安心な食べ物がたくさんあることを実感できる一冊となっています。

今回は、産地偽装問題や産地地消に絞って農家の方を取材され、次号からは商店主の方にスポットを当てる予定となっています。

冊子は、B5判28ページで1000部発行。市役所や地域交流センター、4公民館で入手できます(無料)。

立花隊員は「文字を大きくして高齢の方でも読みやすいようにしました。写真は人の表情にこだわり、温かみのある一冊になっています。多くの方に見てもらいたい」と、加西の魅力発信に取り組んでいます。



農家を取材し、加西市には安全・安心の食べ物がたくさんあると実感した立花隊員

高校生ビジネスプラン・グランプリで播磨農業高校が優秀賞

地域の課題解決につながる起業アイデアを競う「第4回高校生ビジネスプラン・グランプリ」(日本政策金融公庫主催)の最終審査会が1月8日、東京都で行われ、播磨農業高校が優秀賞に選ばれました。

同校は、沖縄県の高校と組み、①耕作放棄地の増加②商店街のシャッター通り化という地域課題を解決するため、食育を促す農業の模擬体験アプリを作り、農産物を家庭で食べるほか、それぞれの地域の商店街でマルシェを開催し、販売するシステムを考案。全国から324校、2,662件の応募があり、兵庫県から初のトップ10に選ばれ、優秀賞に輝きました。



優秀賞に輝いた播磨農業高校の生徒ら